

令和4年度 北海道社会教育主事会協議会研究テーマに係る実践報告書

留萌管内	留萌市
<p>●実践の概要「コロナ禍におけるオンラインによる社会教育活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度道北ブロック社会教育主事等研修会でのオンライン開催</li> <li>・令和4年度第61回北海道社会教育研究大会（留萌大会）でのオンライン開催 ⇒令和3年度道北ブロック社会教育主事等研修会で意図的にオンラインスキルを蓄積し、社会教育研究大会では管内主事会が中心となって分科会を運営 ⇒蓄積されたスキルを各市町村の事業に活かしたオンライン事業の実施</li> </ul> <p>&lt;実践事例（一部）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・youtubeチャンネル「るもい・まなびチャンネル」の開設(留萌市)</li> <li>・現役東大生とオンラインセッションの開催(留萌市)</li> <li>・姉妹都市東京都小平市との北海道・小平町を知るオンライン地域連携講座(小平町)</li> <li>・おびら未来塾「だれでもできる小さな世界の救い方 in おびら」の開催(小平町)</li> <li>・道立近代美術館「移動美術館」開催（動画での解説とオンライン質疑応答）(天塩町)</li> </ul>	
<p>●実践に至るまでの経緯・準備したこと</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、これまでの実施してきた事業が実施できない状況が続いたため、主事会として学びをとめないための実践を通じたオンラインスキルの向上やオンラインにおけるファシリテーション技術の習得に向けた学習</p> <p>⇒オンラインを活用した研修会の開催（上記以外）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年 オンライン学習会「子どもたちの自己肯定感を高めるために」開催</li> <li>・令和3年 ファシリテーション学習会の開催（2回） 「会議や研修の場づくりとアイデアを広げる様々な手法を学ぶ」 「アイデアのまとめ方を学ぶ」</li> </ul> <p>⇒令和4年 第61回北海道社会教育研究大会でのオンライン開催に向けた打合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会7回</li> <li>・事務局員会議6回</li> </ul> <p>※主事会メンバーを含んだオンラインによる詳細な打合せにより当日のスムーズな運営につながった。</p>	
<p>●実践で難しいと思ったこと・困っていること</p> <p>&lt;全道大会の分科会運営に関連して&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①分科会など多展開する場合は、ヘッドセットに加えて声が混ざらないように、物理的な距離を置くことが必要</li> <li>②ブロック社会教育主事等研修会とは会場が異なるため、環境や運営方法に不安</li> <li>③オンラインのため、どうしても講師・運営と参加者との距離感・温度差が生じる</li> </ol>	

<p>●改善のアイデア</p> <p>&lt;全道大会の分科会運営に関連して&gt;</p> <p>①分科会会場と同数の会議室の確保</p> <p>②令和4年度留萌管内生涯学習セミナーをオンラインで開催することで、当日を想定したりハーサルに</p> <p>③主事会職員がこれまでの経験を駆使し、参加者とのつなぎ役に</p>	
<p>●実践での行政職員の関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会・事業等の運営・実施主体</li> <li>・講師と参加者とのつなぎ役</li> </ul>	<p>●実践後の対象の変容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でも学びは止まらないことを実感（主催者、参加者ともに）</li> <li>・オンライン研修等へのハードルが下がった（主催者、参加者ともに）</li> </ul>
<p>●実践から導き出された社会教育行政職員の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記関りと同様</li> </ul> <p>※令和2年度、3年度まではコロナを原因で研修会・事業の開催・実施ができないことも多くあったが、オンラインを活用することで、開催・実施につながることを実感できた。</p> <p>「講師・運営と参加者との距離感・温度差をどれだけ縮められるか」が今後の課題として挙げられ、対面とオンラインの間であるハイブリットな研修会・事業の開催・実施方法の検討が必要だと感じた。</p>	